

二〇二三年二月一七日（参加者一五名）

マスクしてゐても姦しをみなどち	うつぎ
ルイビトン欲しくクリスマスショッピング	"
レシートに膨るる財布十二月	"
法の庭一鉢ポインセチア置く	ひかり
石仏の顔染めて草紅葉	"
ウエディングドレス聖樹のウインドに	有香
冬雲を抜け出して飛機着陸す	"
開店を待つ人垣や街師走	きづな
日銀の閉せし門へ黄落す	"
小春日の苑に野鳥の水飲場	はく子
社会鍋軍服托鉢僧和服	"
常盤木の古墳を抱きて山眠る	宏虎
石庭に山茶花紅をこぼしけり	わかば
石庭の要の松の色変へず	つくし
風花のこぼれ高舞ふアーケード	こすもす
着膨れてハグの手背にとどかざる	小袖
銀杏散り敷いて華やぐ御堂筋	満天
喧騒の人波に年惜しみけり	"

定例会の選

二〇二三年二月一七日（参加者一五名）